

有効活用には適さないウチダザリガニ
ー洞爺湖が証明した捕獲数の減少と個体サイズの低下ー

★ No Sustainable Uses for Signal Crayfish

★ Evidence of Downsizing and Population Decline by Lake Toya Eradication Program-

○ 上原裕世¹⁾ (Hiroyo UEHARA)、室田欣弘²⁾ (Yoshihio MUROTA)、吉田剛司^{1)†} (Tsuyoshi YOSHIDA)

1) 酪農学園大学大学院野生動物保護管理学研究室 (Wildlife Management Laboratory, Rakuno Gakuen University)

2) UW クリーンレイク洞爺湖 (UW Clean Lake Toya)

タイトル・氏名等の表記例

ヒトと動物の関係学会学術大会・抄録原稿作成にあたっての書式・注意点をまとめた「書式サンプル」です。

表記に関して、下記の書式・注意点を必ず遵守して下さい。
書式に合わない原稿は、掲載を認めないこともありますので、提出前に、十分にご確認ください。

付き文字で†を入れ(例: ^{1)†})、そのメールアドレスを提出の際に明示して下さい。

(1) 【タイトル・氏名等の表記】

【タイトル・氏名等の表記例】に倣い、書式1行目から順に、タイトル・発表者氏名・発表者所属を記してください。連名発表や、所属が複数ある場合は、適宜、次行に続けて記してください。

(3) 本文の表記に関する注意点

本文は、タイトル・著者情報等のあと、1行空けて始めてください。文字数は、1,600~1,800文字程度(一行文字数26字、35行、2段)でお願いします。

- 抄録には「目的」、「方法」、「結果」、「考察」に該当する内容を含めてください。
- 小見出しを設ける場合は、以下の例に倣い、通し番号を付けず、隅付き括弧【】で括って記してください。
例) 【背景及び目的】 【方法】 【結果及び考察】
- 図表を添付する場合は、「通し番号」と「図表タイトル」を付して下さい。

- (1行目) 和文タイトル: 12pt
- (2行目) 和文サブタイトル: 10.5pt
- (3行目) 英文タイトル: 10.5pt
- (4行目) 英文サブタイトル: 10.5pt
- (5行目) 発表者氏名(発表者英語名): 9pt
- (6行目) 発表者所属(発表者所属英語名): 9pt

(2) 【タイトル・氏名等の表記】に関する注意点

- ★ 「英文タイトル」「英文サブタイトル」「発表者所属英語名」の表記は、【タイトル・氏名等の表記例】★印に倣い、単語の1文字目を大文字で記して下さい。
- △ 「発表者英語名」は、【タイトル・氏名等の表記例】△印に倣い、姓は全て大文字・名は1文字目だけ大文字で記して下さい。
- ◇ 発表者のうち、学術大会当日に報告を担当する責任発表者は、【タイトル・氏名等の表記例】◇印に倣い、氏名の前に「○」を付記して下さい。
- 「発表者所属」は、【タイトル・氏名等の表記例】□印に倣い、発表者氏名の後ろに上付き文字(例: ¹⁾)で番号をふり、各発表者との所属の対応が付くように記して下さい。またコレスポンディング・オーサーの氏名の後ろに上

(4) 投稿不切・学会誌掲載・発表形式等について

- 学生院生・一般発表の抄録提出期日は以下の通りです。
2017年1月13日(金)17時(厳守)
- 発表の予稿集は、ヒトと動物の関係学会誌として刊行されます。また、コレスポンディング・オーサーのメールアドレスも記載されます。
- 掲載ページレイアウトは、DTP用レイアウトソフトの都合上、提出いただいたフォーマットレイアウトと若干異なる場合がありますので、ご了承ください。
- 口頭発表の募集が多数の場合は、大会日程の関係でポスターセッションに変更していただく場合もあります。いずれの選考についても、事務局に一任させていただきますのでご了承ください。なお、発表形式等の詳細につきましては事務局までお問い合わせください。